

# Vascular

## ステントグラフト内挿術における3D画像支援と希釈造影による造影剤使用量低減の可能性 —Trinias C16s with SCORE Operaを使用して—



紀 裕介 先生

警和会 第二大阪警察病院 医療技術部 放射線技術科<sup>1</sup>  
警和会 第二大阪警察病院 大動脈・血管センター 心臓血管外科<sup>2</sup>  
紀 裕介<sup>1</sup>, 大賀 勇輝<sup>2</sup>, 倉谷 徹<sup>2</sup>

### 1. はじめに

第二大阪警察病院 (Fig.1) は大阪市天王寺区に位置し、大動脈・血管センター、下肢救済・創傷ケアセンター、アレルギーセンター、スポーツ医学センター、アイセンターの各医療センターと腎臓内科、膠原病リウマチ科、血液内科等を有している。また、総合病院として高度急性期医療を担う大阪警察病院が徒歩10分の位置にあり、密に連携をとりながら地域医療に携わってきた。なお、2025年1月1日にこの2病院が合併して新病院となり、大阪けいさつ病院 (Fig.2) として約660床、地下1階から地上8階建てになる。



Fig.1 第二大阪警察病院外観



Fig.2 合併後の新・大阪けいさつ病院外観イメージ

### 2. システムの導入

第二大阪警察病院では、2022年7月より島津製作所社製血管撮影システム Trinias C16s with SCORE Opera (以下 Trinias) を設置し、ハイブリッド室で大動脈ステントグラフト内挿術 (TEVAR, EVAR), PCI, EVTなどを施行してきた (Fig.3)。当院にこのシステムを導入した理由は以下の4点である。

- ① 大阪大学心臓血管外科グループ連携病院への導入実績があり安心して利用できる点
  - ② 2022年4月に発売されており、ハード・ソフトの面でフルモデルチェンジされ、特に島津独自のカテ手術テーブルが導入された点
  - ③ ディープラーニングを利用したAIフィルターによる画像処理SCORE Operaが低線量や高画質に期待できる点
  - ④ 後述するように低コントラストでもしっかりと画像を描出できるという点
- である。



Fig.3 ハイブリッド手術室に設置されている Trinias